授業科目	＊対人関係論					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	水貝　洵子						
授業概要	看護実践においては疾病やその治療に関する知識や看護技術に加え、看護の対象となる人の尊厳を尊重し、看護の対象となる人やその家族と人間関係を構築し支えていく力が必要とされる。本講義では、対人関係の基礎を理解することを主たる目的とする。ここで扱う対人関係の基礎とは、社会的認知、対人関係と対人行動(コミュニケーションを含む)、集団と個人、ストレスなどを指す。講義を中心に行うが、適宜体験的なワークも取り入れる。						
授業形態	講義			授業方法	ディスカッション グループワーク		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．対人関係の基礎となる諸概念(社会的認知、対人行動、集団と個人との関係、自己理解、ストレスとストレスマネジメント)の特徴を理解し、説明することができる。 2．講義で学んだ心理学的知識を用いて、日常の対人関係について振り返り、他者に説明することができる。
理想的レベル	1. 対人関係の基礎となる諸概念(社会的認知、対人行動、集団と個人との関係、自己理解、ストレスとストレスマネジメント)の特徴を正しく理解し説明することができる。 2. 講義で学んだ心理学的知識を用いて、日常の対人関係について振り返り、他者に説明することができる。 3. 講義で学んだ心理学的知識を用いて、自らの臨床実践や援助に役立てるために、臨床場面と結び付けて考えることができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト		
レポート	30%	毎授業にて提出を求める質問感想シートを指す
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU11113J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
該当箇所の復習	1

授業計画	
第 1 回	テーマ：オリエンテーション

	対人関係にかかわる心理学的知識を学ぶ意義について説明を行う。さらに心理学がどのような学問であるかについての説明を行う。
第 2 回	テーマ：他者との出会いと対人関係の成立１ 他者に抱く印象は、どの様な影響を受け成立するのか、対人的な魅力を感じる際の要因について解説を行う。適宜実習及びディスカッションを行う。
第 3 回	テーマ：他者との出会いと対人関係の成立２ 対人関係を成立、維持する仕組みや対人関係を危うくする要因について解説する。適宜ワークを実施する。
第 4 回	テーマ：援助行動と攻撃行動 対人関係を成立させる、または危うくする特徴的な対人行動として、援助行動と攻撃行動を取り上げて解説する。適宜ワークを実施する。
第 5 回	テーマ：ひとの態度と他者の影響１ 心理学における態度とは何かを説明し、ひとの態度を変容させる認知的不協和や説得コミュニケーションについて取り上げる。適宜ワークを実施する。
第 6 回	テーマ：ひとの態度と他者の影響２ 人の態度に影響を与える要因としてマスメディア(SNS を含む)を取り上げ、マスメディアがひとにどのような影響を与えるかについて解説する。適宜ワークを実施する。
第 7 回	テーマ：円滑なコミュニケーションのために１ コミュニケーションとはどのようなものかについて説明する。またコミュニケーションの促進要因や阻害要因について解説する。適宜ワークを実施する。
第 8 回	テーマ：円滑なコミュニケーションのために２ 適応的なコミュニケーションのあり方を考えるうえで、自己開示とアサーションの視点を取り上げ説明を行う。適宜ワークを実施する。
第 9 回	テーマ：集団と個人１ 集団が個人に与える影響について、傍観者効果や社会的抑制等を取り上げ説明する。また集団での意思決定において陥りやすい行動として同調などの概念を説明する。適宜ワークを実施する。
第 10 回	テーマ：集団と個人２ 会社などの組織における集団構造やリーダーシップについて解説する。また集団での情報伝達の中で陥りやすいリスクやその対処について説明する。適宜ワークを実施する。
第 11 回	テーマ：よりよい対人関係のための自己認知１ 心理学ではどのように自己を対象に研究が進められてきたかについて解説する。また自己概念や自己評価など基本的な自己に関する概念を説明する。適宜ワークを実施する。

第 12 回	テーマ：よりよい対人関係のための自己認知２ 　自己を理解する視点のひとつとしてパーソナリティを取り上げ、心理学ではどのようにひとの性格やパーソナリティを理解するかについて説明を行う。適宜ワークを実施する。
第 13 回	テーマ：ストレスとストレスマネジメント１ 　対人関係と密接に関係するストレスを取り上げ、心理学ではどのようにストレスを理解するかについて説明する。
第 14 回	テーマ：ストレスとストレスマネジメント２ 　対人関係と密接に関係するストレスを取り上げる。ストレスへの対処の仕方について解説する。適宜ワークを実施する。
第 15 回	テーマ：まとめ 　これまでの授業内容の振り返りを行う。
テキスト	指定しない。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	系統看護学講座　基礎分野『人間関係論』 　石川ひろの・奥原剛・岡田佳詠・太田加世・片桐由紀子・塚本尚子・宮本有紀(著)　医学書院 『ワークショップ心理学』 　藤野忠明・粟田喜勝・瀬島美保子・橋本尚子・東正訓(著)　ナカニシヤ出版
課題に対するフィードバックの方法	レポートで提出された授業内容に関する質問やコメントについては、必要に応じて授業内で取り上げ回答を示す。
学生へのメッセージ・コメント	予備知識は必要ないが、講義内で得た知識を自らの体験と結び付けて考える姿勢や態度が期待される。 授業中に実施されるワークに積極的に参加する姿勢が求められる。 講義で得た知識について、自らの体験と結び付けて考える積極的な姿勢が求められる。